

沿岸・近海漁業資源調査－Ⅲ (漁場環境調査：ヒトデ調査)

榊純一郎

【目 的】

東町漁協所属ごち網漁船にヒトデが大量に入網するため、海底の状況をROVにより観察し、ヒトデの存在を目視確認する。

【方 法】

- ・調査船及び調査員

東町漁協所属ごち網漁船 海洋丸 (4.8トﾝ／池上直光船長)

資源管理部 榊 純一郎

くろしお 長井 智之・板敷 洋一

- ・調査海域

長島及び伊唐島沖のごち網漁場

- ・調査期間

平成21年7月16日 午後1時～午後4時

- ・調査内容及び方法

三井造船製RTDV-Hyper200MK2を用い、海底状況をビデオ撮影した。録画した画像データを基に、ヒトデの存在を確認するとともに、可能な限り生物種の同定を試みた。

【結 果】

東町漁協ごち網業者会選定の4点(図1)においてROV調査を実施し、表1のとおり4点中3点でヒトデ及びヒトデの痕跡を確認した。なお調査点2では録画画像による確認ができなかった(現地観察ではヒトデは視認されなかった)。種の同定は標本を確保できず実施できなかった。録画画像で視認したヒトデ及びその痕跡を図2～13に示す。

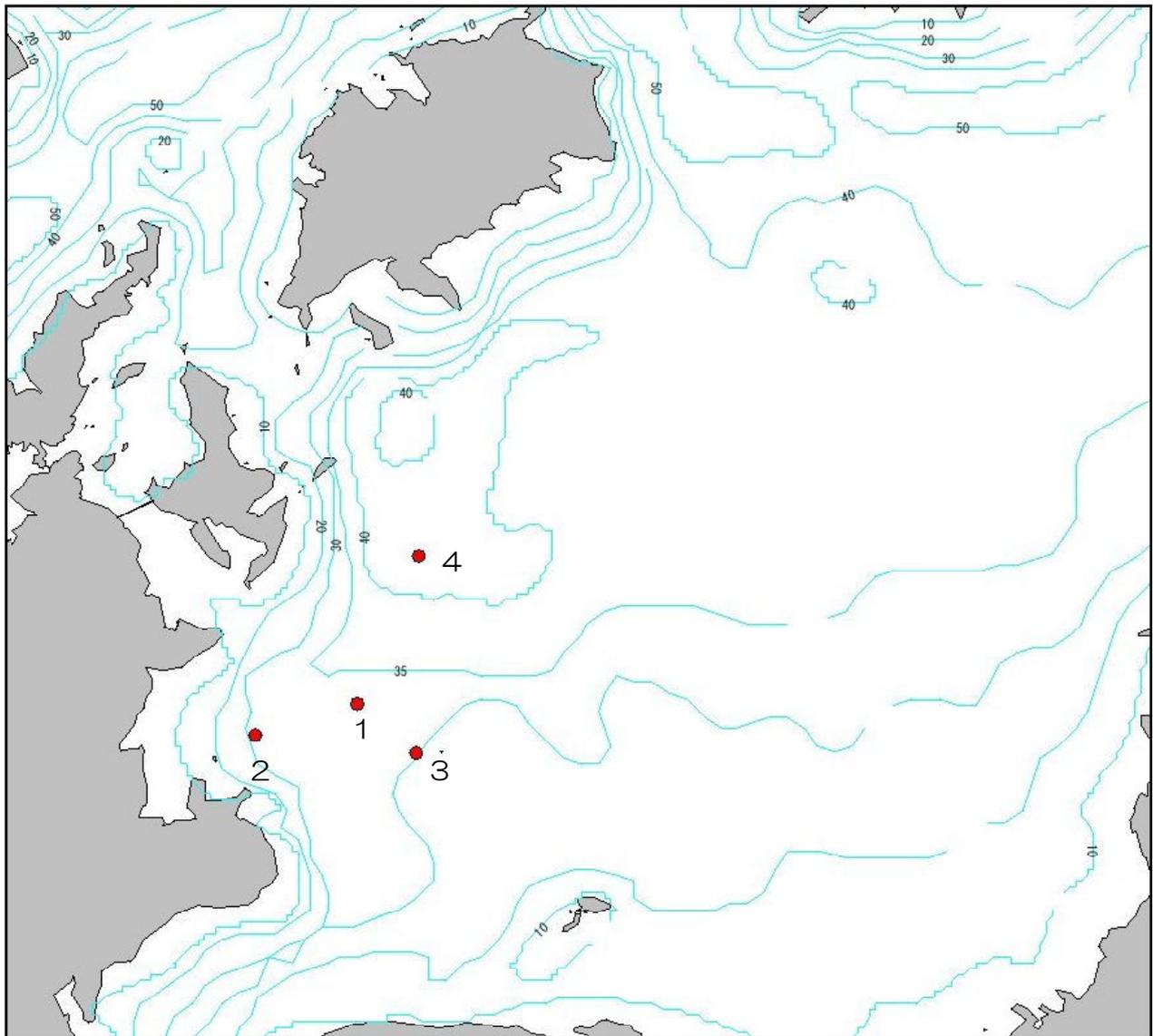


図1 調査実施位置

表1 調査箇所別ヒトデ視認数一覧

調査No.	1	2	3	4	計
緯度	32° 11.060' N	32° 10.730' N	32° 10.540' N	32° 12.616' N	
経度	130° 13.450' E	130° 12.387' E	130° 14.065' E	130° 14.092' E	
水深	37.0m	37.0m	36.2m	46.7m	
ヒトデ視認数	1	—	5	2	8
ヒトデ痕跡数	0	—	3	1	4



図2 調査点1で視認されたヒトデ



図3 調査点3で視認されたヒトデNo.1



図4 調査点3で視認されたヒトデNo.2



図5 調査点3で視認されたヒトデNo.3



図6 調査点3で視認されたヒトデNo.4



図7 調査点3で視認されたヒトデNo.5



図8 調査点4で視認されたヒトデNo.1



図9 調査点4で視認されたヒトデNo.2



図10 調査点3におけるヒトデ痕跡No.1



図11 調査点3におけるヒトデ痕跡No.2



図12 調査点3におけるヒトデ痕跡No.3



図13 調査点4におけるヒトデ痕跡